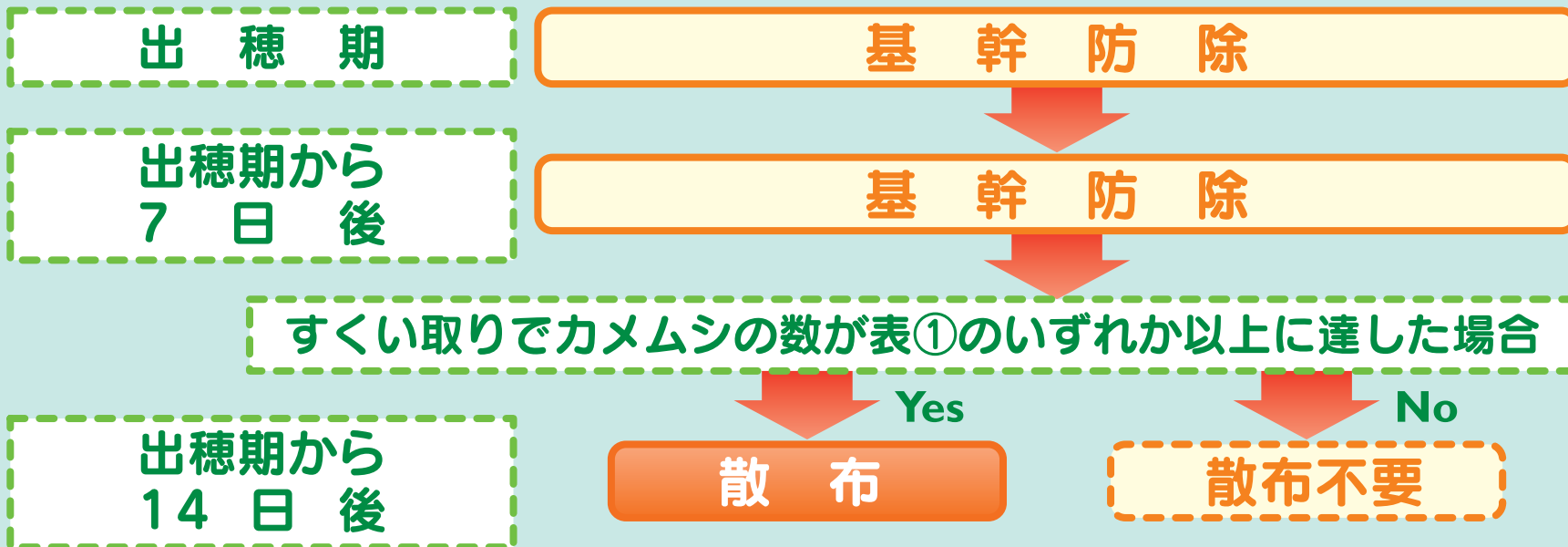


モニタリングを利用し、的確なカメムシ防除を!

■モニタリングを利用したカメムシ防除体系

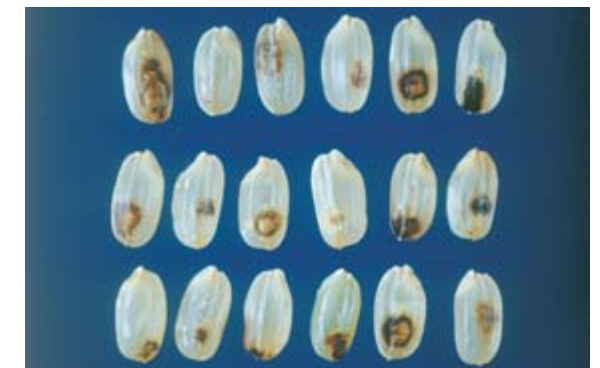


表①追加防除の判断基準

すくい取り時期	20回振りのカメムシ数	
	きらら397	ほしのゆめ
出穂10~12日後 (追加防除の2~3日前)	2	1



アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫



斑点米



すくい取り



性フェロモントラップ

◎8月下旬までの防除予定日(7~10日間隔)の2~3日前にすくい取り調査を行う。

カメムシ・いもち病防除のスケジュール(目安)

	7月	8月	9月
カメムシ防除		基幹防除 出穂期 出穂後7日目 ◎ ◎	要否判定による追加防除 出穂後14日目 出穂後21日目 出穂後28日目 ○ ○ ○
いもち病防除	葉いもち 茎葉散布 (○)	穂いもち ◎ (○)	◎ = 必ず実施する防除 ○ = 発生に応じて実施

水田での防除に際し、**農薬を圃場外に飛散させない**

- 風のない条件で散布するとともに、ドリフト低減ノズルなどの器具を使用する。
- 粉剤は、液剤や水和剤と比べ、特にドリフトの注意が必要です。